

滋賀県流域治水条例第29条に基づく水害リスクに関する情報の提供の方法

滋賀県流域治水条例で宅地建物取引時に提供を求めている水害リスク情報は、以下の**4種類**となります。

- 「地先の安全度マップ」最大浸水深図 200年確率
- 「地先の安全度マップ」最大浸水深図 100年確率
- 「地先の安全度マップ」最大浸水深図 10年確率
- 浸水想定区域図

上記4種類の情報は、滋賀県が運営するウェブサイト「滋賀県防災情報マップ」により公開しています。

1 「滋賀県防災情報マップ」(下記URL)にアクセスしてください。

<http://shiga-bousai.jp/dmap/>



バーコード読取機能のあるスマートフォン、携帯電話は、左のバーコードからもアクセスできます。

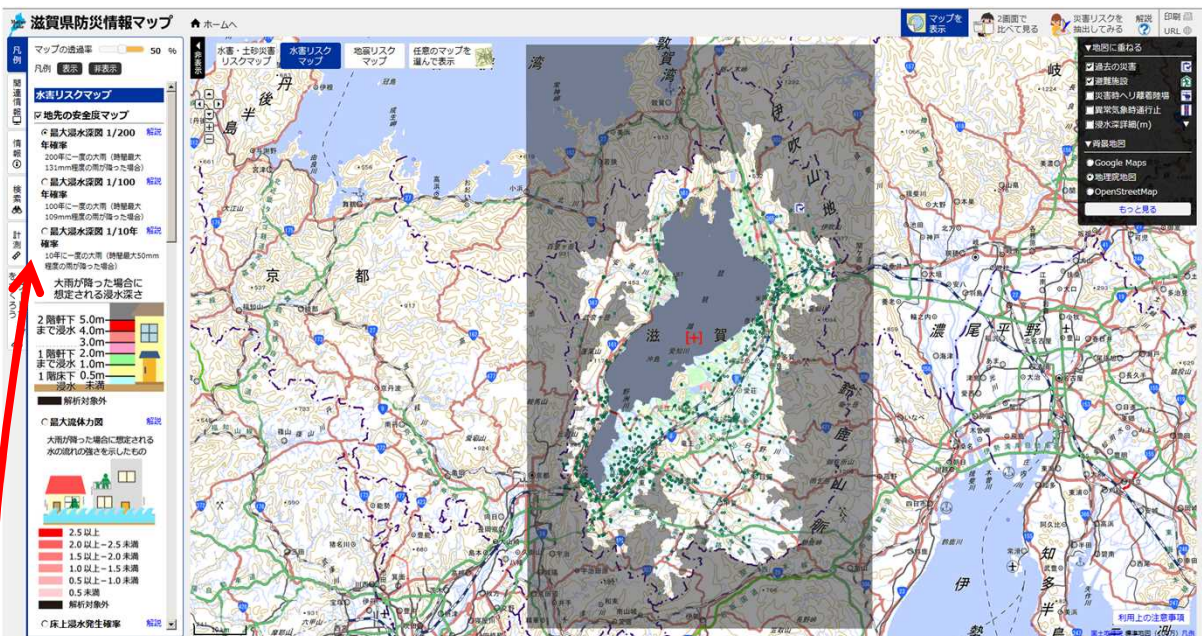
データ量が多いため、定額プランをご利用されていない場合は、通信料にご注意ください。

2 下図のページが表示されます。

3 「水害リスクマップ」を選択してください。

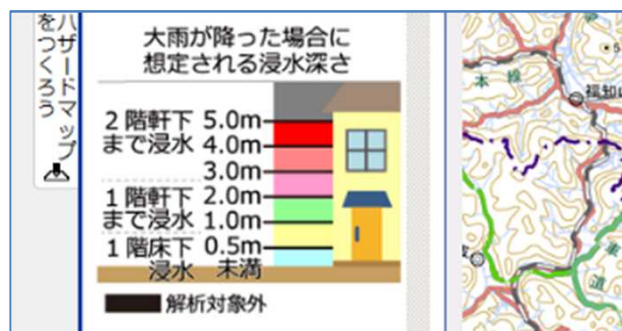


4 下図のページが表示されます。

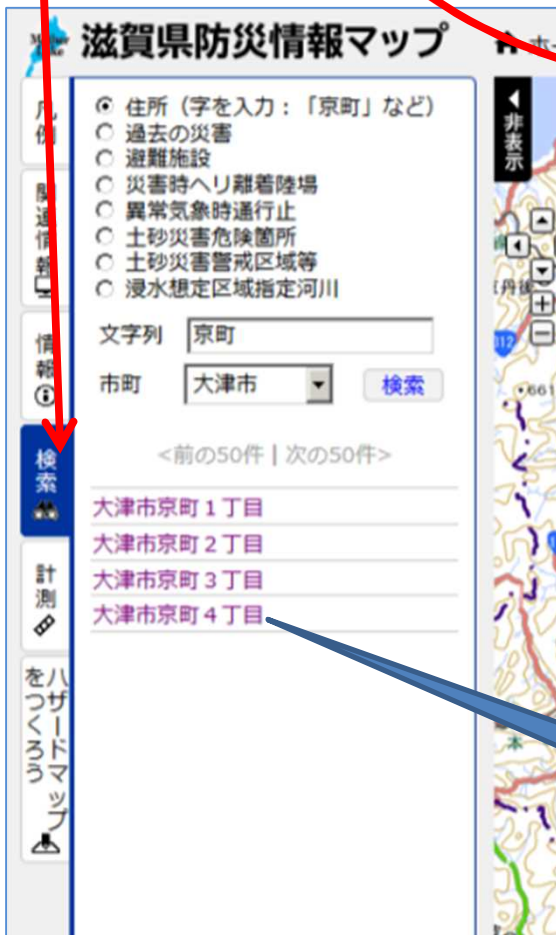
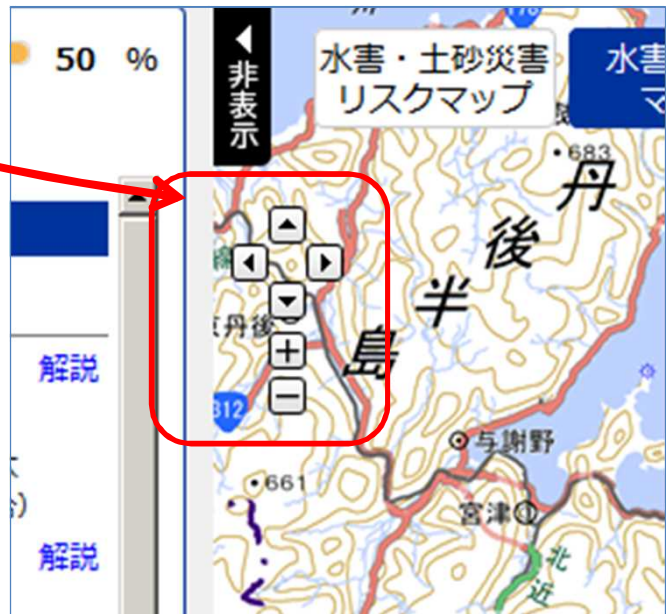
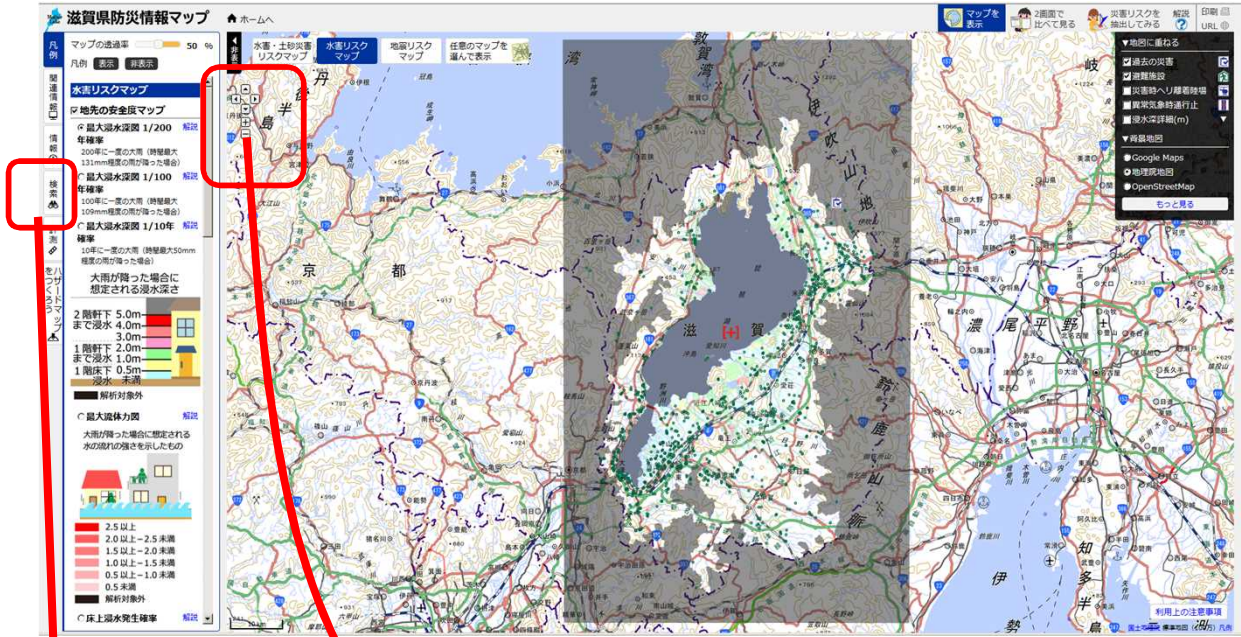


この段階では、「地先の安全度マップ」最大浸水深図 200年確率が表示されています。

画面左側に、表示されているリスク図の種類と凡例が表示されています。



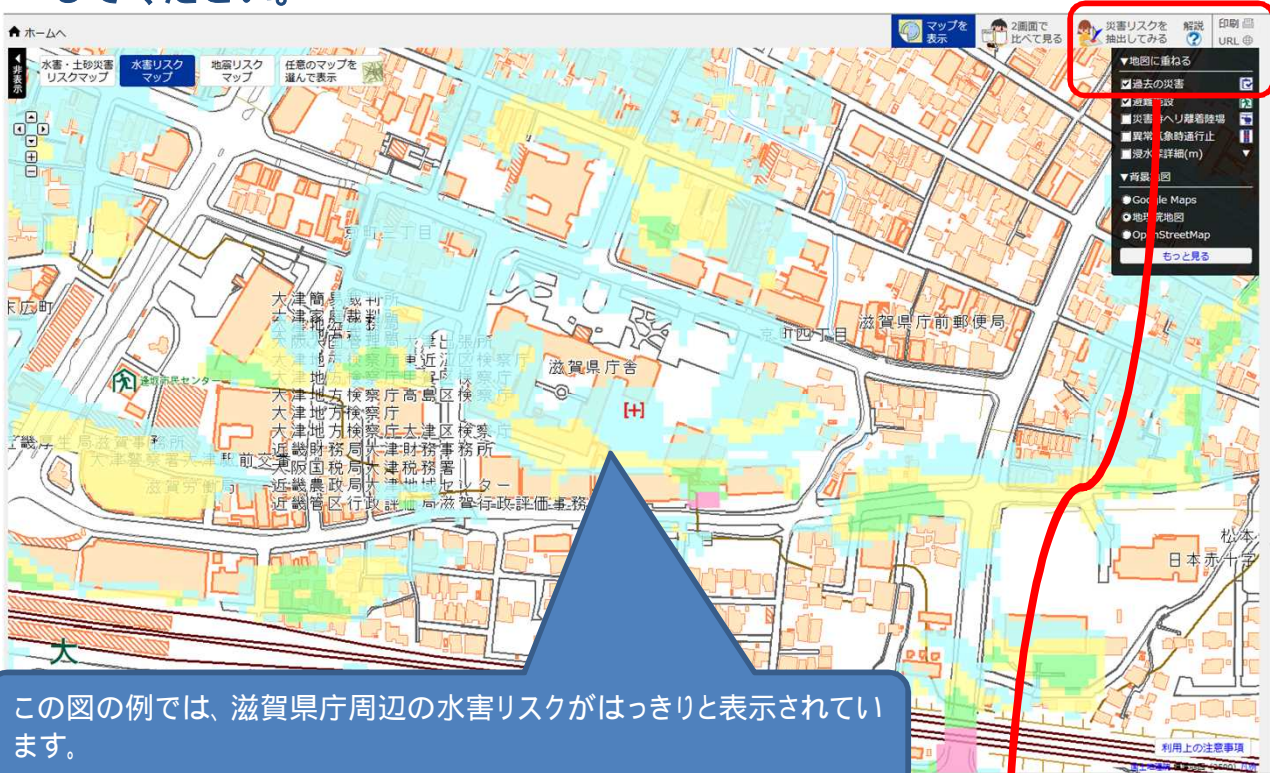
5 地図左上の「+」「-」「」を操作して、見たい場所を拡大してください。



「検索」タブから字名を入力し、検索することもできます。

検索し表示された住所をクリックすると、その場所が拡大表示されます。

6 宅地建物取引の対象となる物件のリスクがはっきりわかる分かるまで拡大表示してください。



7 画面右上の「印刷」ボタンをクリックしてください。



8 印刷設定画面が表示されます。

印刷設定					
用紙サイズ	凡例あり	<input checked="" type="radio"/> A4縦	<input type="radio"/> A4横	<input type="radio"/> A3縦	<input type="radio"/> A3横
	凡例なし	<input type="radio"/> A4縦	<input type="radio"/> A4横	<input type="radio"/> A3縦	<input type="radio"/> A3横
用紙枚数		<input checked="" type="radio"/> 縦1枚×横1枚	<input type="radio"/> 縦2枚×横1枚	<input type="radio"/> 縦1枚×横2枚	<input type="radio"/> 縦2枚×横2枚

出力確認

背景地形図の著作権は背景地形図の提供元にあります。
印刷物の利用にあたっては本サイトの「解説」内の「利用上の注意事項」などをご確認ください。

インターネットエクスプローラー(I.E.)をお使いの場合は、I.E.9以上のバージョンを使用してください(I.E.11推奨)。I.E.8では、印刷方法によっては正しく出力されない場合があります。

9 「凡例あり」の中から、出力したい用紙と向きを選択してください。

流域治水条例第29条に基づく水害リスク情報の提供の場合には、必ず「凡例あり」を選んでください。

印刷設定

用紙サイズ	凡例あり	<input type="radio"/> A4縦 地図 凡例	<input checked="" type="radio"/> A4横 地図 凡例	<input type="radio"/> A3縦 地図 凡例	<input type="radio"/> A3横 地図 凡例
	凡例なし	<input type="radio"/> A4縦 地図	<input type="radio"/> A4横 地図	<input type="radio"/> A3縦 地図	<input type="radio"/> A3横 地図
用紙枚数		<input checked="" type="radio"/> 縦1枚×横1枚 <input type="radio"/> 縦1枚×横2枚	<input type="radio"/> 縦2枚×横1枚 <input checked="" type="radio"/> 縦2枚×横2枚		

背景地形図の著作権は背景地形図の提供元にあります。
印刷物の利用にあたっては本サイトの「解説」内の「利用上の注意事項」などをご確認ください。

10 「出力確認」ボタンをクリックしてください。

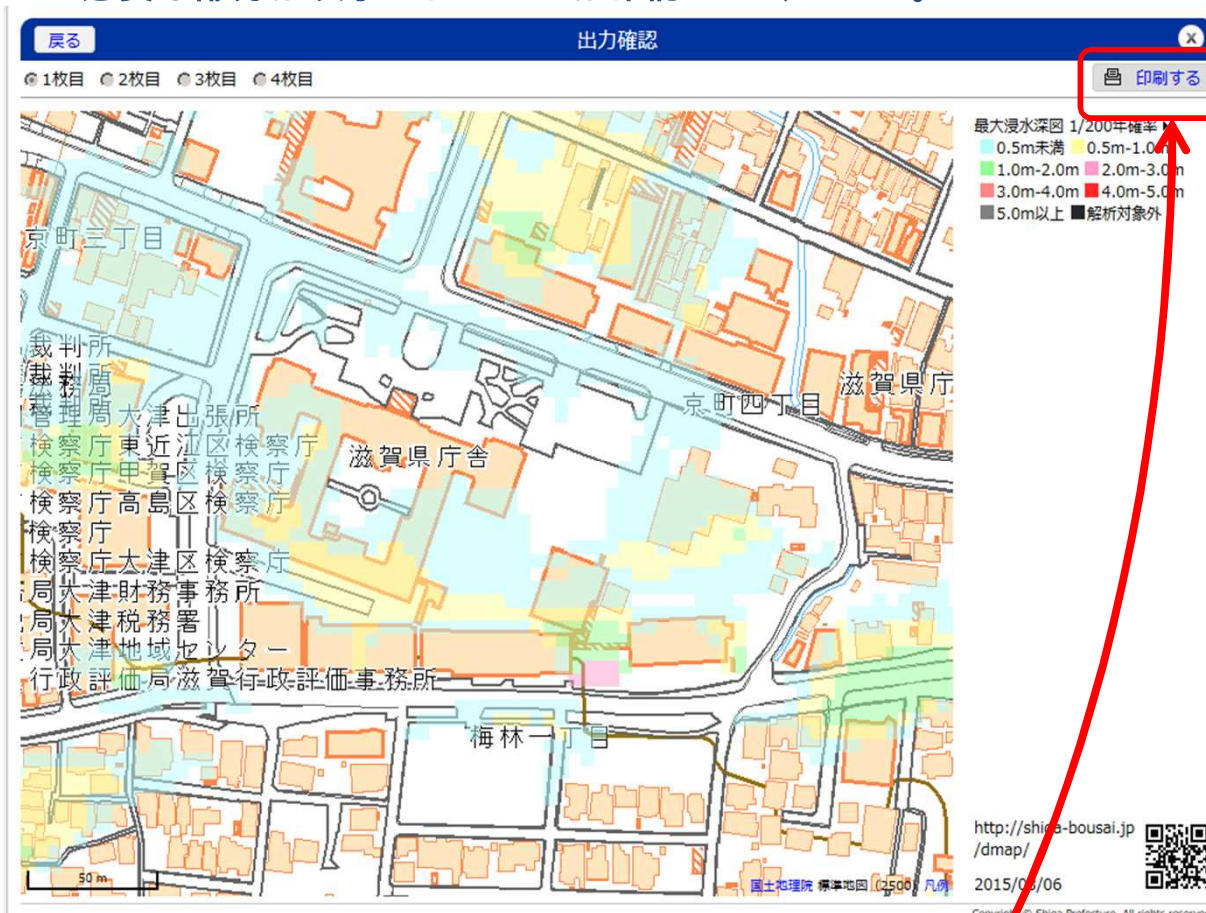
印刷設定

用紙サイズ	凡例あり	<input type="radio"/> A4縦 地図 凡例	<input checked="" type="radio"/> A4横 地図 凡例	<input type="radio"/> A3縦 地図 凡例	<input type="radio"/> A3横 地図 凡例
	凡例なし	<input type="radio"/> A4縦 地図	<input type="radio"/> A4横 地図	<input type="radio"/> A3縦 地図	<input type="radio"/> A3横 地図
用紙枚数		<input checked="" type="radio"/> 縦1枚×横1枚 <input type="radio"/> 縦1枚×横2枚	<input type="radio"/> 縦2枚×横1枚 <input checked="" type="radio"/> 縦2枚×横2枚		

背景地形図の著作権は背景地形図の提供元にあります。
印刷物の利用にあたっては本サイトの「解説」内の「利用上の注意事項」などをご確認ください。

クリック

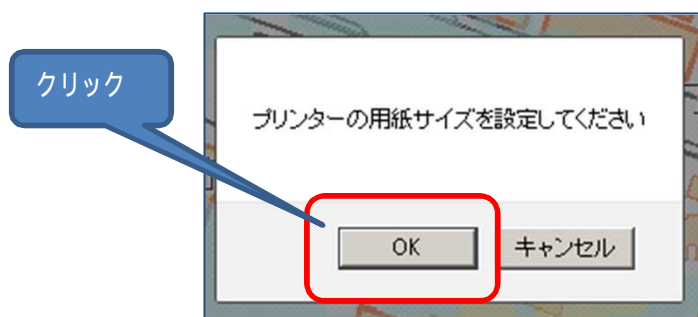
11 必要な部分が表示されているか確認してください。



12 「印刷する」ボタンをクリックしてください。



13 下図のメッセージが表示されるので「OK」をクリックしてください。



- 14 印刷メッセージが表示されるので、プロパティからプリンターの用紙設定を、「印刷設定」(手順9)で選択した用紙設定とあわせてください。



プリンターの用紙設定の方法については、お使いのプリンターの取扱説明書等をご覧ください。

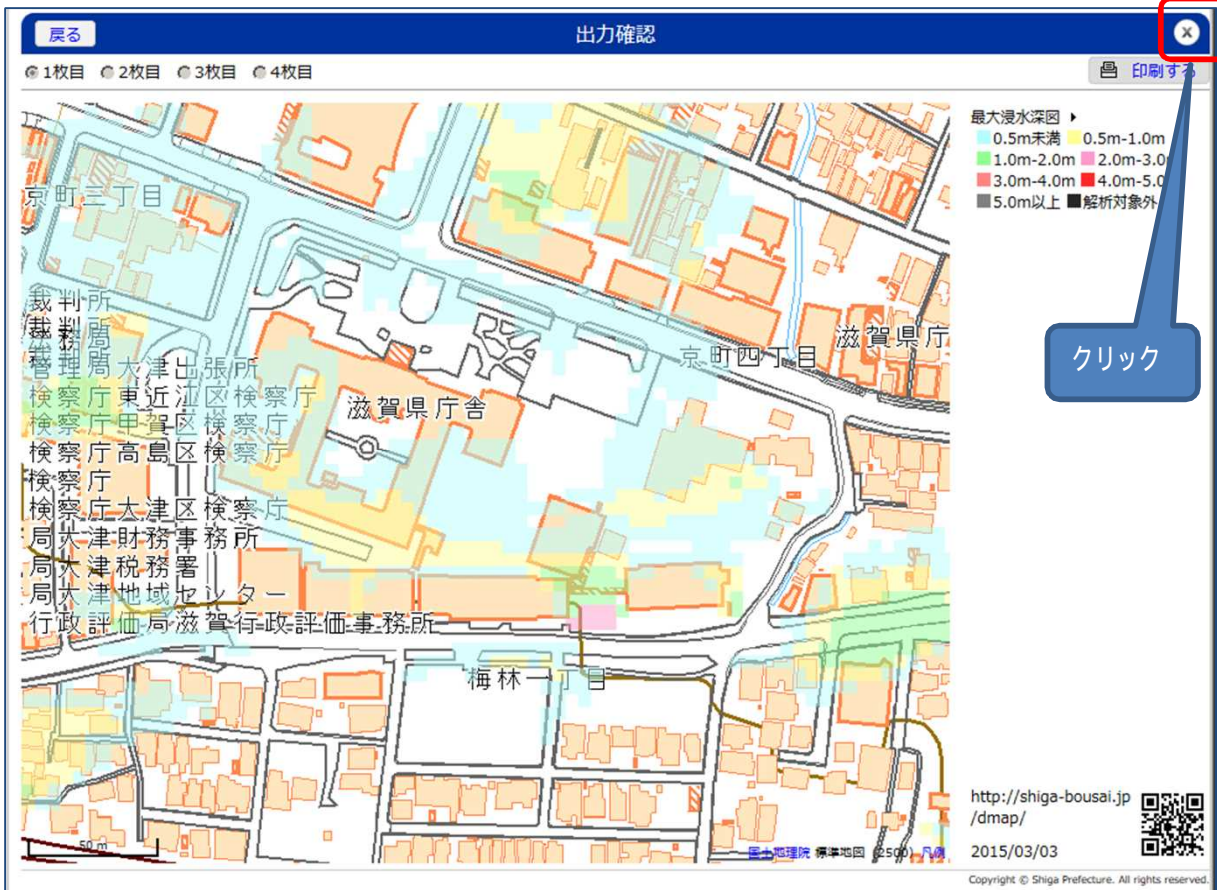
- 15 「OK」ボタンにより印刷してください。
印刷中は下のメッセージが表示されます。



- 16 『「地先の安全度マップ」最大浸水深図200年確率』が印刷できました。



17 「出力確認」画面を右上の「×」により閉じてください。



18 画面左側の「凡例」タグで、「最大浸水深図1/200年確率」から「最大浸水深図1/100年確率」に切り替えてください。



- 19 画面右上の「印刷」ボタンをクリックし、7~16までの手順を繰り返して『「地先の安全度マップ」最大浸水深図100年確率』を印刷してください。



- 20 『「地先の安全度マップ」最大浸水深図10年確率』も同様に印刷してください。

次は浸水想定区域図を印刷します。

- 21 画面左側の「凡例」タグで、「地先の安全度マップ」のチェックを外してください。



22 「凡例」タグをスクロールし、浸水想定区域図を選択してください。

浸水想定区域図は、河川が氾濫した時のリスクを表現したものです。

宅地建物取引の対象となる物件の近くにある河川の浸水想定区域図を選択してください。

湖岸に近ければ琵琶湖浸水想定区域図を選択してください。

「地先の安全度マップ」と「浸水想定区域図」の違いについては、【補足1】をご覧ください。

どの河川の浸水想定区域図を選択してよいか分からない場合は、「災害リスクを抽出してみる」機能により確認してください。

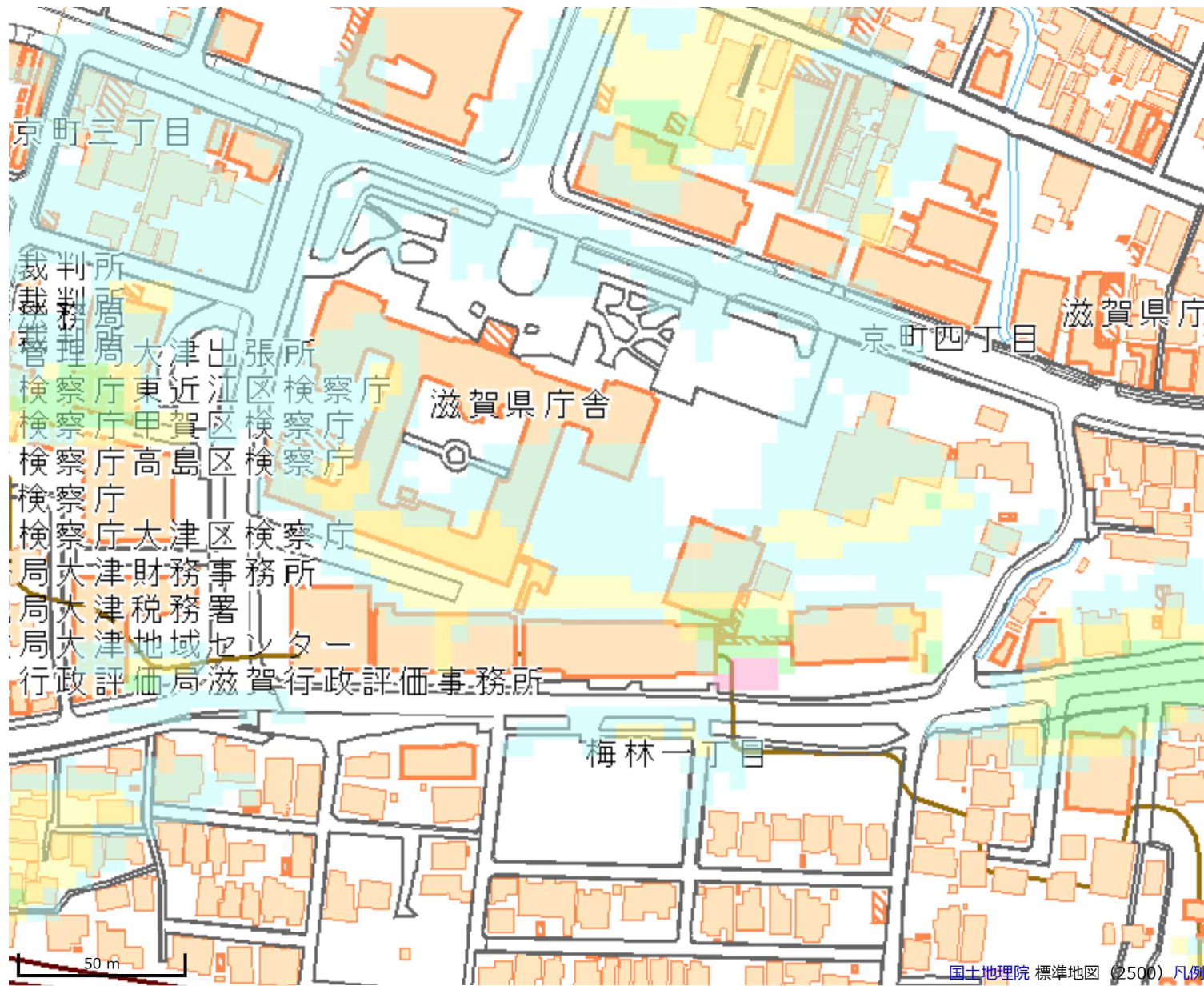
【補足2】

22 宅地建物取引の対象となる物件の浸水想定区域図について、7～16までの手順により印刷してください。

23 印刷した4種類の水害リスク情報を、重要事項説明書の添付文書として、取引の相手方に提供してください。

水害リスク情報について相手方がより詳しい情報を求めた場合は、以下の連絡先をご案内ください。

滋賀県土木交通部流域政策局流域治水政策室
〒520-8577 滋賀県大津市京町四丁目1-1
電話 077-528-4291 FAX 077-528-4904



最大浸水深図 1/200年確率 ▶

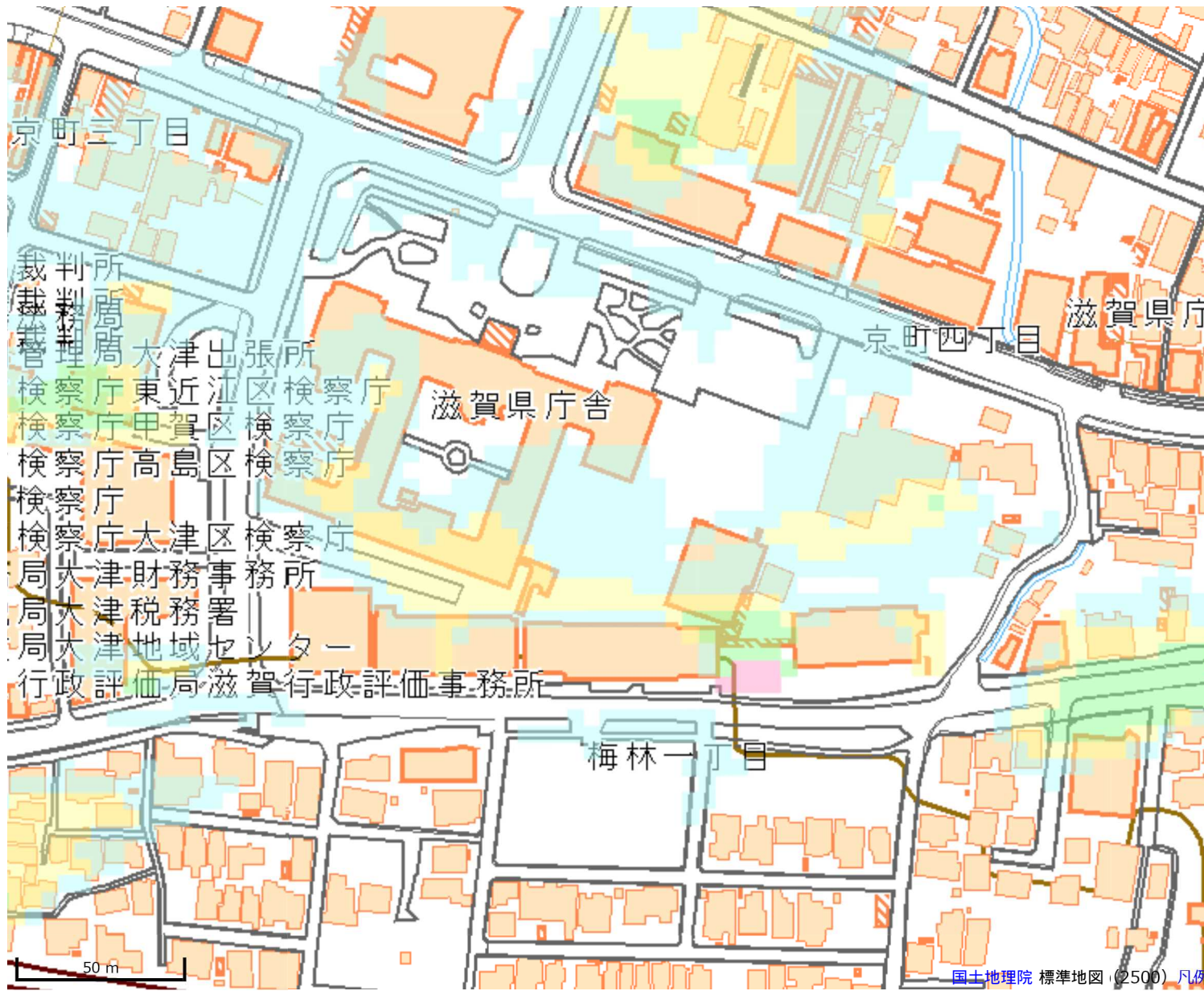
0.5m未満	0.5m-1.0m
1.0m-2.0m	2.0m-3.0m
3.0m-4.0m	4.0m-5.0m
5.0m以上	解析対象外

<http://shiga-bousai.jp/dmap/>



2015/03/06

Copyright © Shiga Prefecture. All rights reserved.



最大浸水深図 1/100年確率 ▶

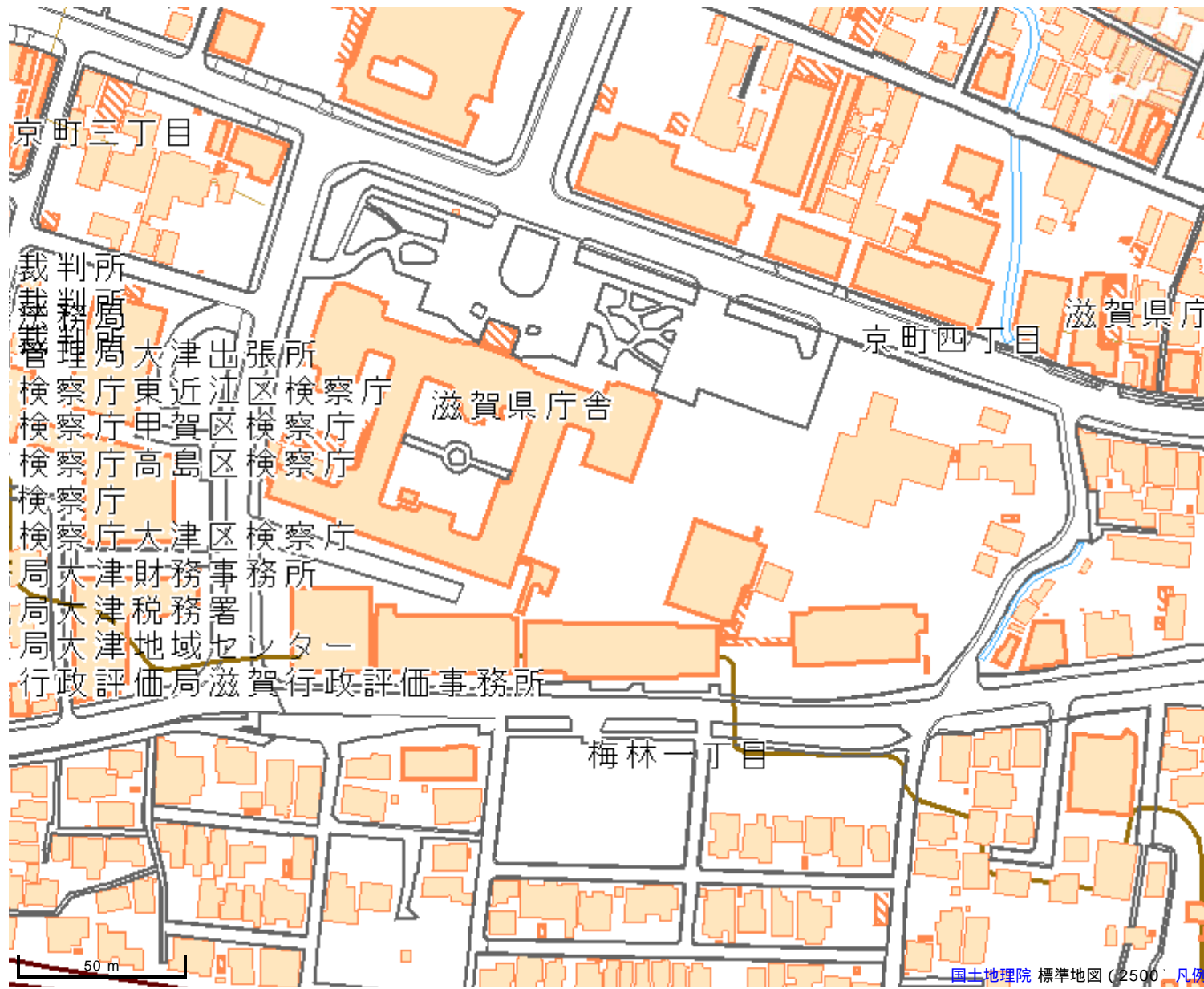
0.5m未満	0.5m-1.0m
1.0m-2.0m	2.0m-3.0m
3.0m-4.0m	4.0m-5.0m
5.0m以上	解析対象外

<http://shiga-bousai.jp/dmap/>



2015/03/06

Copyright © Shiga Prefecture. All rights reserved.



琵琶湖 浸水想定区域図 ▶

- 0.5m未満
- 0.5m-1.0m
- 1.0m-2.0m
- 2.0m-5.0m
- 5.0m以上

<http://shiga-bousai.jp/dmap/>



2015/03/06

Copyright © Shiga Prefecture. All rights reserved.

【補足1】地先の安全度マップと浸水想定区域図について

滋賀県における水害は、3つの段階があります。

大雨直後

身近な河川などから水があふれ出し、小規模な浸水被害が発生するおそれがあります。

大雨後

流域に降った雨が流れ込み、大規模な河川がはん濫し、甚大な浸水被害が発生するおそれがあります。

約1日後

琵琶湖の水位が上昇し、湖岸付近の浸水が長い時間続くおそれがあります。

よって、ある場所の水害リスクを把握するためには、上記の3段階のリスクを確認することが大切です。

【浸水想定区域図】では、「大雨後(中大河川の氾濫)」のみを明示することが一般的ですが、さらに滋賀県は日本で唯一、「大雨直後(水路・小河川の氾濫)」と「大雨後(中大河川の氾濫)」の両方を含めた【地先の安全度マップ】を作成、公表しています。

滋賀県における浸水被害の特徴

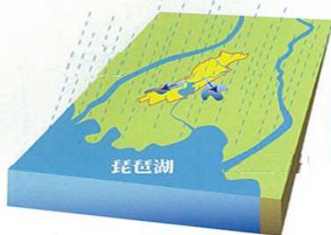
【Ⅰ 大雨直後】
まちなか水路
小河川の氾濫

【Ⅱ 大雨後】
中大河川の氾濫

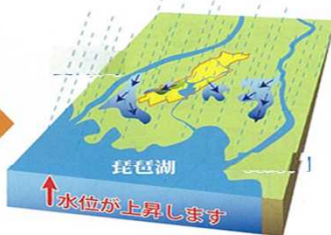
【Ⅲ 約1日後】
琵琶湖水位の上昇

大雨が降り続けると→河川や内水がはん濫

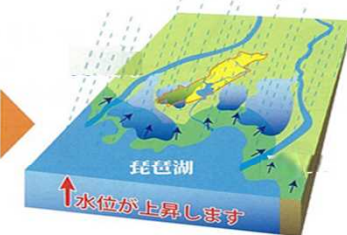
さらに雨が降り続けると→琵琶湖がはん濫



身近な河川などから水があふれ出し、小規模な浸水被害が発生するおそれがあります。



大規模な河川がはん濫し、甚大な浸水被害が発生するおそれがあります。



琵琶湖の水位が上昇し、湖岸付近の浸水が長い時間続くおそれがあります。

※浸水被害の
予測情報

浸水想定区域図
(中大河川ごと)
100年確率降雨

琵琶湖浸水想定区域図
観測史上最大降雨
(明治29年豪雨)

地先の安全度マップ (最大浸水深図)
10年確率・100年確率・200年確率降雨

以下の4種類の情報を宅地建物取引時に提供することにより、滋賀県における浸水被害の特徴である3段階の水害リスクについて知らずに住み始めることを防ぐことができます。

「地先の安全度マップ」最大浸水深図 200年確率

「地先の安全度マップ」最大浸水深図 100年確率

「地先の安全度マップ」最大浸水深図 10年確率

浸水想定区域図

「地先の安全度マップ」や「浸水想定区域図」は、地域の水害リスクをお知らせするため、一定の計算条件に基づいて算出した浸水深などを情報提供するものです。

計算条件以上の大雨による氾濫や解析条件で考慮できなかった事項の影響により、公表している浸水深などについて、より大きな被害が発生する場合や、異なる浸水深となる場合があります。

解析条件の違いにより「浸水想定区域図」と「地先の安全度マップ」では浸水範囲や浸水深に違いがある場合があります。両方とも発生する可能性がある浸水被害であることを念頭に、水害への備えを考慮してください。

【補足2】「災害リスクを抽出してみる」機能について

「滋賀県防災情報マップ」には、ある地点の災害リスクをまとめて表示・確認できる機能があります。

1 画面右上「災害リスクを抽出してみる」をクリックしてください。



2 災害リスクを確認したい地点をクリックしてください。



3 画面左側の「凡例」タグに、矢印が刺さった地点の災害リスクが画面左側に表示されます。

滋賀県防災情報マップ

ホームへ

凡例

この地点で予想されるリスクを表示中 [選択クリア](#)

検索

- ▼最大浸水深図
 - 200年確率
浸水深：
0.5m~1.0m未満
 - 100年確率
浸水深：
0.5m~1.0m未満
 - 10年確率
浸水深：
0.5m~1.0m未満
- ▼最大流体力図
 - 最大流体力図
0.5未満 m3/s2
- ▼床上浸水発生確率
 - 床上浸水発生確率
10.0%以上
- ▼推定震度分布
 - 推定震度分布(全地震最大)
震度6強
 - 琵琶湖西岸断層帯地震(case1)
震度6強
 - 琵琶湖西岸断層帯地震(case2)
震度6強
 - 花折断層帯地震(case2)
震度6強
 - 花折断層帯地震(case3)
震度6強
 - 木津川断層帯地震(case1)
震度5弱
 - 木津川断層帯地震(case3)
震度5弱
 - 鈴鹿西縁断層帯地震(case1)
震度4
 - 鈴鹿西縁断層帯地震(case2)
震度4
 - 柳ヶ瀬・関ヶ原断層帯地震(case1)
震度4

50 m

この例では「地先の安全度マップ」最大浸水深図200年確率では浸水深0.5-1.0m未満、推定震度分布では震度6のように、各リスクが数値で表示されます。

チェックを入れることにより、マップとして表示することもできます。

全ての災害リスクについて、宅地建物取引時に相手方に提供することが法令により求められているわけではありませんが、災害リスクを知ることは安全な住まい方の第一歩です。

積極的にご活用いただきますようお願いいたします。